

重要取組シート

上下水道局 水道部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (老朽化・災害対策(水道))
現状・課題		■水道事業では配水池を 31 池、水道管路を約 2,400km 有しており、投資と財源のバランスを保ちながら、施設の健全性を確保するためには、将来の更新需要を見据えた計画的で効率的な維持管理、更新が必要である。 ■能登半島地震のほか全国で大規模地震が発生しており、本市においても上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等、大きな地震の発生が懸念される中、被害を最小限にとどめ、早期に復旧することが求められる。 ■水道施設の耐震化には膨大な時間と費用が必要になるため、災害時に特に水道水が必要となる指定避難所や病院等に至る給水ルートの耐震化など、優先度を踏まえた計画的かつ継続的な取組が必要である。
取組の内容		■水道施設の健全性を確保するため、アセットマネジメント手法を用いて、施設の特性に応じた点検結果などをもとに、計画的に維持修繕・更新する。 ■有効率の改善や漏水調査業務の効率化を目的に、新技術の活用を検討する。 ■災害時に特に水道水が必要となる指定避難所や病院等に至る給水ルートを耐震化する。 ■応急給水用水の貯留機能を確保するため、家原寺配水場を更新(耐震化)する。また更新時に施設規模を最適化(3池→2池)する。
スケジュール	前期 (~7月)	□ 基幹管路更新工事の施工(中区学園町等 約 8.7km)(通年) □ 基幹管路更新工事の発注・施工(南区檜尾等 約 1.9km)(通年) □ 水管橋の撤去および更新工事の施工(5 橋)(通年) □ 優先耐震化路線の耐震化工事の発注・施工(美原区阿弥等 約 1.8km)(通年) □ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工(通年) □ 水道管路の漏水調査を実施 □ 家原寺配水場配水池更新工事の施工(通年) □ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施(通年)
	中期 (~11月)	□ 基幹管路更新工事の施工(中区学園町等 約 8.7km)(通年) □ 基幹管路更新工事の発注・施工(南区檜尾等 約 1.9km)(通年) □ 水管橋の撤去および更新工事の施工(5 橋)(通年) □ 優先耐震化路線の耐震化工事の発注・施工(美原区阿弥等 約 1.8km)(通年) □ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工(通年) □ 水道管路の漏水調査を完了(9月) □ 家原寺配水場配水池更新工事の施工(通年) □ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施(通年)
	後期 (~3月)	□ 基幹管路更新工事の施工(中区学園町等 約 8.7km)(通年) □ 基幹管路更新工事の発注(南区檜尾等 約 1.9km)(通年) □ 水管橋の撤去および更新工事の施工(5 橋)(通年) □ 優先耐震化路線の耐震化工事の発注・施工(美原区阿弥等 約 1.8km)(通年) □ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工(通年) □ 家原寺配水場配水池更新工事の施工(通年)

		☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施（通年） 【R6 年度 目標】 ☐ 優先耐震化路線の耐震化率 99.0% ☐ 水道管路の耐震化率 33.2%	
	次年度以降	☐ 基幹管路および配水支管の耐震化（更新）を計画的に進める。 ☐ 配水池の耐震化を計画的に進める。 ☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を進める。	
進捗の状況	前期（～7月）	☐ 基幹管路更新工事の施工（中区学園町等 約 8.7km）（通年） ☐ 基幹管路更新工事の発注（南区檜尾等 約 1.9km）（通年） ☐ 水管橋の撤去および更新工事の施工（5 橋）（通年） ☐ 優先耐震化路線の耐震化工事の発注・施工（美原区阿弥等 約 1.8km）（通年） ☐ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工（通年） ☐ 水道管路の漏水調査を実施 ☐ 家原寺配水場配水池更新工事の施工（通年） ☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施（通年）	
	中期（～11月）	☐ 基幹管路更新工事の施工（中区学園町等 約 8.7km）（通年） ☐ 基幹管路更新工事の発注・施工（南区檜尾等 約 1.9km）（通年） ☐ 水管橋の撤去および更新工事の施工（5 橋）（通年） ☐ 優先耐震化路線の耐震化工事の発注・施工（美原区阿弥等 約 1.8km）（通年） ☐ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工（通年） ☐ 水道管路の漏水調査を完了（9月） ☐ 家原寺配水場配水池更新工事の施工（通年） ☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施（通年） ☐ 上下水道一体で耐震化を推進するための上下水道耐震化計画の検討（～1月）	
	後期（～3月）		
2025 堺市基本計画	該当する施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5 - (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	5 - (1)：水道管路の優先耐震化路線の耐震化率 [現状値：97.4%（2022年度）] 5 - (2)：水道管路の耐震化率 [現状値：31.8%（2022年度）]	目標値（2025 年度） 5 - (1) 100% 5 - (2) 34.3%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 6	安全な水とトイレを世界中に
	寄与する KPI	水道管路の優先耐震化路線の耐震化率 [現状値：97.4%（2022 年度）]	目標値（2025 年度） 100%

重要取組シート

上下水道局
経営企画室、下水道管路部、下水道施設部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (老朽化・災害対策(下水道))
現状・課題		■下水道事業では水再生センター3か所、ポンプ場6か所、下水道管きょを約3,140km有しており、投資と財源のバランスを保ちながら、施設の健全性を確保するためには、将来の更新需要を見据えた計画的で効率的な維持管理、改築修繕が必要である。 ■能登半島地震のほか全国で大規模地震が発生しており、本市においても上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等大規模地震の発生が懸念される中、被害を最小限に抑え、早期に復旧することが求められる。 ■下水道施設の「重要な管きょ」と「重要な施設」について、重要度・優先度を踏まえ、計画的かつ継続的な取組が必要である。
取組の内容		■下水道施設の健全性を確保するため、アセットマネジメント手法を用いて施設の特性に応じた点検結果などをもとに、計画的に改築・修繕を行う。 ■震災時においても下水道機能を確保するため、緊急交通路に埋設された管きょや、指定避難所から水再生センターをつなぐ管きょ等を対象とした「重要な管きょ」及び水再生センター・ポンプ場の「重要な土木施設」の耐震化を進める。
スケジュール	前期 (～7月)	□ 水再生センター設備の改築更新実施設計業務の発注・実施(泉北ほか)(6月～) □ ポンプ場の耐震診断業務の発注・実施(浜寺)(7月～) □ 下水道管きょの計画的調査の実施(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震化工事の発注・実施(北区東浅香山町ほか)(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区少林寺町ほか)(通年) □ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年)
	中期 (～11月)	□ 水再生センター設備の改築更新工事の発注・施工(石津ほか)(9月～) □ 下水道管きょの計画的調査の実施(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震化工事の実施(北区東浅香山町ほか)(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震対策実施設計業務の実施(堺区少林寺町ほか)(通年) □ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年)
	後期 (～3月)	□ 下水道管きょの計画的調査の実施(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震化工事の実施(北区東浅香山町ほか)(通年) □ 下水道管きょの改築及び耐震対策実施設計業務の実施(堺区少林寺町ほか)(通年) □ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年) 【令和6年度目標】 □下水道管きょの計画的調査率 14.2% □重要な管きょの耐震化率 96.6%

	次年度以降	☐ 下水道管さよの維持・改築修繕を計画的に進める。 ☐ 下水道設備の維持・改築修繕を計画的に進める。 ☐ 重要な管さよ、重要な土木施設の耐震化を計画的に進める。		
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 水再生センター設備の改築更新実施設計業務の発注・実施(泉北ほか)(6月～) ☐ 下水道管さよの計画的調査の実施(通年) (下水道管さよ調査率: 6.9%完了) ☐ 下水道管さよの改築及び耐震化工事の発注・実施(北区東浅香山町ほか)(4月～)(通年) ☐ 下水道管さよの改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区少林寺町ほか)(4月～)(通年) ☐ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年)		
	中期 (～11月)	☐ 水再生センター設備の改築更新工事の発注・施工(石津ほか)(9月～) ☐ 下水道管さよの計画的調査の実施(通年) (下水道管さよ調査率: 12.5%完了) ☐ 下水道管さよの改築及び耐震化工事の発注・実施(北区東浅香山町ほか)(通年) ☐ 下水道管さよの改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区少林寺町ほか)(通年) ☐ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年) ☐ 上下水道一体で耐震化を推進するための上下水道耐震化計画の検討(～1月)		
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5-(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5-(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 6	安全な水とトイレを世界中に	
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —

重要取組シート

上下水道局
経営企画室、下水道管路部、下水道施設部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (浸水対策)
現状・課題		■局地的な大雨等に対し、浸水実績や浸水シミュレーションから、浸水危険解消重点地区を選定し、雨水管きょや雨水ポンプ場の整備などの浸水対策を推進してきた。今後も継続した取組が必要である。 ■近年、気候変動等の影響により、局地的な大雨が増加傾向にあり、本市においても、浸水被害が発生している。 ■気候変動による降雨量の増加を考慮した計画降雨等を検討した上で、今後の整備の進め方を検討する必要がある。
取組の内容		■浸水被害の最小化を図るため、R5 年度に新たに設定した浸水危険解消重点地区（13 地区）を中心に雨水整備を進める。 ■R4 年 9 月の大雨の被害地区への浸水対策を実施する。 ■気候変動による将来的な降雨量増加を考慮した計画の見直しを推進する。 ■想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図の作成など、ソフト対策を推進する。
スケジュール	前期 (～7 月)	□ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（中区福田ほか）（通年） □ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（東区大美野ほか）（通年） □ 気候変動を踏まえた雨水整備計画の見直し（通年） □ 浸水想定区域図（想定最大規模降雨）の作成（通年） □ 古川下水ポンプ場の建設（通年） □ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（11 月～）
	中期 (～11 月)	□ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（中区福田ほか）（通年） □ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（東区大美野ほか）（通年） □ 気候変動を踏まえた雨水整備計画の見直し（通年） □ 浸水想定区域図（想定最大規模降雨）の作成（通年） □ 古川下水ポンプ場の建設（通年） □ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（～R8 年度末）
	後期 (～3 月)	□ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（中区福田ほか）（通年） □ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（東区大美野ほか）（通年） □ 気候変動を踏まえた雨水整備計画の見直し（通年） □ 浸水想定区域図（想定最大規模降雨）の作成（通年） □ 古川下水ポンプ場の建設・供用開始（3 月） □ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（～R8 年度末） 【R6 年度目標】 □ 重点地区の浸水対策実施率 7.7%（1／13 地区）
	次年度以降	□ 浸水危険解消重点地区などの雨水整備を進める。 □ ハザードマップの更新（～令和 7 年度） □ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（～R8 年度末）

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（中区福田ほか）（通年） ☐ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（東区大美野ほか）（通年） ☐ 気候変動を踏まえた雨水整備計画の見直し（通年） ☐ 浸水想定区域図（想定最大規模降雨）の作成（通年） ☐ 古川下水ポンプ場の建設（通年） ☐ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の発注準備（～7月）		
	中期 (～11月)	☐ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（中区福田ほか）（通年） ☐ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（東区大美野ほか）（通年） ☐ 気候変動を踏まえた雨水整備計画の見直し（通年） ☐ 浸水想定区域図（想定最大規模降雨）の作成（通年） ☐ 古川下水ポンプ場の建設（通年） ☐ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の発注（8月）		
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —